JSP ニュース

2008年 春

No.62

証券コード：7942

代表取締役社長　井上 六郎

JSPニュース　No.62　Contents

社長メッセージ …… 01
特集1　中国広東省に東莞工場が完成しました …… 03
特集2　JSP 北米事業 …… 05
トピックス …… 07
新製品紹介 …… 09
JSPカレンダー …… 10
会社情報・アンケートのお願い …… 13
表紙の写真 …… 14

中期経営計画（REMAKE21）全力をもって取り組んでま

株主の皆様におかれましては益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

平成19年度は、当社中期3ヶ年計画「REMAKE21」の2年度に当たります。

厳しい事業環境の下ではありますが、その目標達成に向け全社で活動中であります。

ここ数年来、繰り返し申し述べております様に、過去3年余に亘り未曽有の高騰を続けて参りました原燃料価格は、平成19年度において一部に若干の沈静化を見た時期もありましたが、通期的には依然上昇の途にあります。全社挙げて製品価格修正の努力を続けた結果として、各製品の用途・市場構造によりその達成度に濃淡はありますが、総じて価格修正は徐々に進捗していると考えております。

特に発泡スチロール（EPS）製品につきましては、対前年比で原料と製品価格の差がある程度改善してきたと認識しております。しかしEPS事業は依然厳しい環境下にあることに変わりなく、その状況打破のため同業他社の事業を譲り受ける決定を致しました。来期以降、遂年的にEPS事業の収益改善に向け注力する所存であります。

また当社各事業の諸コスト低減も引き続き行っており、特に経費面で比率の大きい在庫費用など諸物流費低減のため鹿沼物流センターを建設、所要の施設を完工し活動を開始致しました。

国内事業の概括を致しますと、原料値上が続く中で製品価格修正と収益確保を優先した結果として、一部の製品で

の目標達成に向けて、
いります。

は販売数量減少もありましたが、売上高では概ね予定通りとなる見込みです。昨年半ばからの建築基準法改訂による影響で、建築土木資材関連製品の販売が低迷している状況ではありますが、総じて健闘したと考えております。

単体事業の業績は、前年比では大幅に改善されましたが、予算比では遺憾ながら大幅未達成となりました。

海外事業を概括しますと、欧州・北米・アジアで若干のまだら模様はありますが、全体として前年比予算比ともに増収・増益の見込みです。

欧州事業は、売上高が伸長し製品価格修正の効果もあり、収益は前年比予算比ともに大幅改善となりました。北米事業の売上高は前年比微増でしたが、従来から注力して来た新用途・新市場開拓が進み、収益面では対前年比で相当な改善となりましたが予算収益はやや未達成となりました。欧・米とも今後更に自動車のリアシート芯材や、アメフト・サッカーなどのフィールド改質ブロック等の新用途拡大に注力いたします。

アジアでは、中国事業が引き続き拡大し、前年比予算比ともに大幅増収増益となりました。

韓国事業は堅調ながらも売上高・収益とも前年・予算をやや下回りました。シンガポールと台湾の事業は事業環境の変化と厳しさの中で前年比僅かに減収減益ですが、収益面では予算を上回りました。

アジア事業は全体で見ますと、国内のEPP事業や欧州・北米に肩を並べ得る規模となり、特に中国では需要伸長が続き、その対応として東莞新工場が完工し稼動いたしました。

今後需要伸長が期待されるインド・東南アジアに於いては、シンガポール工場を拠点とし、より積極的に市場開拓を致します。

以上の状況下で今期の当社連結業績は、売上高・収益ともに中期計画当該期の目標をやや下回るものの、予算比ではほぼ見込み通りの数字となり、当社過去最高値となる見込みです。

来期も原燃料価格動向は依然不透明であります。米国の景気減退も懸念され、日本経済回復の足取りは重く、更に前述の改訂建築基準法の悪影響が残ることも考えられます。引き続いての厳しい経営環境下ではありますが、製品価格是正・生産性向上・コスト低減を継続し、加えて新製品・新事業開発育成を進めて参る所存です。

また、来期以後より厳密に義務付けられる内部統制制度確立とJ-SOX法への対応については、社内制度をより充実してこれを履行し、加えて温暖化対策など環境対応面でも必要な対策を実施する所存であります。

今後とも株主の皆様のご理解とご支援ご鞭撻をお願い申し上げまして御報告御挨拶と致します。

平成20年4月

井上六郎

中国広東省に東莞工場が

既に「JSPニュースNo.59」2007年春号で御報告いたしました中国広東省（中国の華南地区）に建設中の杰斯比塑料（東莞）有限公司JSP Plastics（Dongguan）Co.,Ltdの工場が竣工しました。

土地面積17,882㎡、第一期建屋約4,900㎡が完成し、設備・機械の据付も終え、試運転・試作品製造に入っています。

4月4日(金)には、当社社長　井上を始めとした経営幹部立会いの下、竣工式が行われました。

東莞工場では、無錫工場で生産されたミニビーズ（一段発泡ビーズ）を二次発泡して製品サイズに作り上げ、地域顧客に供給いたします。近隣にはトヨタ・日産・ホンダ等日系カーメーカーが進出しており、加えて同地区は香港にも近く、IT家電や液晶テレビ・パソコンやプリンターなどの需要拡大が予測される製品群の生産が活発な地域でもあります。

この開発区域は、食の広州から深圳を経て香港に至る交通の要衝でもあり、それに伴った道路整備などのインフラも整備されており優れた環境を誇っていま

完成しました。

す。区域内には名門リゾートホテルも既に開業しており、多様な面での発展が期待されています。

東莞工場の立地は旧市街地にも近い生活感と、また少しの距離でリゾート感覚も味わうことが出来る今と昔の交わる地点です。皆様も機会がありましたら是非一度お尋ね下さい。

区域内の名門リゾートホテル

東莞工場

竣工式のテープカット

海外事業紹介 JSP 北米事業

JSPインターナショナルの本社はペンシルバニア州のウェインという町にあり、全体のマネージメント、会計、IT管理を行っています。JSPインターナショナル北米には、メキシコ工場と金型工場を含めて6つの工場があります。その中でも一番の売上を誇り技術の中心になっているのがペンシルバニア州西部、ピッツバーグ郊外にあるバトラー工場です。ペレタイズ、ビーズ発泡、成型を行っており、主な用途は、自動車のバンパーコアです。また、成型会社にビーズ販売も行っており、アメリカ北東部とカナダの顧客に供給しています。

バトラー工場では、ビーズを接着剤でくっつける「ブロック」と呼ばれる製品の製造も行っています。水はけを良くする為にアメフト競技場、サッカー場の下地として使用されています。その他では、緩衝、消音を目的とした床下タイルの下地などに使われています。

アメリカで1番のビーズの生産を誇るのは、ミシガン州デトロイト工場です。ビッグ3のお膝元、主要ユーザーは自動車関係です。デトロイト工場ではペレタイズとビーズ発泡のみを行っており、アメリカ北中部、カナダの成型会社にビーズを供給しています。

アメリカ南東部にあたるテネシー州タラホマには、比較的新しい工場が2ヶ所あります。共にポリプロピレン、ポリエチレンを扱っており、タラホマ第1工場は一段発泡、タラホマ第2工場は二段発泡と成型を行っています。アメリカ南東部には、アジア、ヨーロッパの自動車メーカーが進出しており、タラホマ第2工場からは自動車用途として成形品を販売しています。

メキシコ工場は、首都メキシコシティから西に60km離れたトルカという町にあります。自動車用途を主としたビーズ、成型品の販売を行っています。

JSPインターナショナルの金型工場はイリノイ州ミレッジビルという小さな町にあります。この工場では、デザインから型製造までを一貫して行っています。

営業拠点は、デトロイト郊外のマジソン・ハイツという町で、セールスにもデザインや仕様検討をはじめ、コンピューターを使用した性能シミュレーションなどを加え、いろいろな面からの販売サポートを行っています。

ブロック等の新しい製品群の拡大で今後数年高い成長率が期待される北米市場です。

ウェイン本社

バトラー工場

デトロイト工場

ビーズ法発泡ポリスチレン事業の譲り受け

日立化成工業株式会社からビーズ法発泡ポリスチレン（EPS）事業を譲り受け

当社は、展開しているEPS事業に関し、その競争力を維持・強化し、事業の拡大を実現するために、日立化成工業株式会社（以下「日立化成」）のEPS事業を譲り受けることが必要であると考え、JSPが日立化成から、本事業に関する営業権、知的財産権、ノウハウ等を譲り受けると同時に、日立化成の100％子会社である日化化成品株式会社の全株式を譲り受ける内容の平成19年9月28日付基本合意に基づき、事業譲渡等契約書、株式譲渡契約書（日化化成品株式会社）及びOEM供給基本契約書の締結を決議致しました。（平成20年2月7日開催　取締役会）

最終契約書の内容

（1）事業譲渡等契約書

EPS事業に関し日立化成が保有する営業権、実用新案権、商標権意匠権等の知的財産権及びノウハウを譲り受ける。

本事業譲渡等契約書による有形固定資産の譲り受け、負債の引継ぎはありません。

（2）株式譲渡契約書

日化化成品株式会社の全株式を譲り受ける。

（3）OEM供給基本契約書

当社製品への切り替えのため、当社と日立化成が合意した期間、日立化成よりEPS製品のOEM供給を受ける。

業績に与える影響

この事業譲り受けによる当社の平成21年3月期の売上高は、約10％（平成19年3月期売上高に対する比率）増加する予定。

日程

平成20年3月31日

営業権、日化化成品全株式譲渡

平成20年4月1日

日立化成よりのOEM供給開始

日化化成品株式会社の社名をNK化成株式会社に変更

NK化成株式会社の代表取締役社長にJSP取締役執行役員、EPSカンパニープレジデント　塩坂健が就任

EPS製品の主な使用例

電子・精密機器等　緩衝材

保温・保冷容器

株主優待制度を新設

株主優待を始めました！

株主優待内容のご説明

オリジナルクオカード見本

1 対象株主様

毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された1単元（100株）以上を保有されている株主様。

2 優待の内容

一律3,000円相当の、社会貢献寄付金付きオリジナルクオカードを贈呈します。（株主様は3,000円全額ご使用可能）

3 贈呈の時期

毎年の株主総会終了後に発送予定です。

4 実施開始時期

平成20年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主様に進呈します。

● 社会貢献寄附金

「緑の募金」について

1995年に制定された「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、（社）国土緑化推進機構及び各都道府県緑化推進委員会が行っている募金です。集められた寄附金は、森林整備・緑化推進事業・森林に関わる人づくりなどに活用されています。

このクオ・カードの代金の一部は
「緑の募金」へ寄付されます。

ブロック（透水性緩衝シート）紹介

Brock USA社（米国コロラド州）により開発されたユニークな多孔性発泡樹脂製品です。JSPの欧米子会社にライセンス供与されており、海外の収益向上に大きく寄与しています。ブロックは、透水性及び通気性と、弾力性・緩衝性、軽量性、防音性を兼ね備えた特性により、さまざまな用途に使用されています。

最近、特に需要が拡大し今後も成長すると期待している用途として、人工芝の下地材があります。その排水性に優れた弾力性素材は、アメフト競技場、サッカー、ラグビー、ホッケー等の競技場の性能を改善するだけではなく、軽量性により施工期間を大幅に短縮できます。また、ヨーロッパでも、試験的にサッカー場で使用されています。

その他、通気性と弾力性の特性を活かし、ヘルメットのライナー、プロテクター等のスポーツ用保護パッド、乗馬用の鞍などにも使用されています。さらに、緩衝性能のある防音素材として、床下のタイル下地材にも用途展開しています。

今後は、日本、アジアの展開も検討されており、更なる収益向上を目指します。

ブロック

アメフト競技場

2007年11月～12月

11 Nov

英語版ホームページをリニューアルしました

11月1日、英語版ホームページをリニューアルいたしました。日本語版と併せてご活用ください。
英 語 版：http://www.co-jsp.co.jp/english/
日本語版：http://www.co-jsp.co.jp/

12 Dec

株主優待制度の新設を発表

12月10日、株主優待制度の新設を発表いたしました。
平成20年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または登録された株主様より実施し、1単元（100株）以上を保有されている株主様に一律3,000円の社会貢献寄附金付オリジナルクオカードを、毎年の株主総会終了後に発送を予定しております。

オリジナルクオカード見本

2008年1月

1 Jan

「第4回企業力格付け」167位にランクイン

1月4日付、日刊工業新聞に「第4回企業力格付け」が掲載され、当社は167位にランクインしました。
これは日刊工業新聞が経済産業省の後援を得て、主要上場企業を対象とした調査を実施したものです。

「モテカブ流個人投資家説明会」に参加

1月12日、月刊モテカブ（発行、企画運営：㈱日本インベスターズサービス）が主催する3社合同の「モテカブ流個人投資家説明会」に参画し、当社社長　井上がプレゼンテーションをいたしました。当日は天候の悪い中、大勢の方にご来場いただきました。

「平成20年3月期　第3四半期財務・業績の概況」を発表

1月30日、東京証券取引所に「平成20年3月期　第3四半期財務・業績の概況」を報告し、対外発表いたしました。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
平成20年3月期　第3四半期	**75,591**	**4,392**	**4,226**	**2,277**
平成19年3月期　第3四半期	73,057	3,409	3,552	2,043
（参考）平成19年3月期	95,505	4,114	4,119	2,357

2008年2月～4月

2

「ビーズ法発泡ポリスチレン事業の譲り受けに関する契約書締結のお知らせ」を発表

2月7日、日立化成工業株式会社が展開しているビーズ法発泡ポリスチレン（EPS）事業の営業権等をJSPが譲り受ける最終契約書の締結を決議し、発表いたしました。

QCサークル活動全国大会開催

2月23日、恒例のQCサークル活動発表会全国大会を東京国際フォーラムで開催いたしました。

組織変更及び人事異動を発表

2月25日、平成20年4月1日付け組織変更及び人事異動を対外発表いたしました。

＜組織変更＞

- 総務人事部を改組し、総務部総務グループ、及び秘書グループ、人事部人事グループとする。
- 法務グループを新設し、経営管理本部の直下とする。
- IRグループを経営管理本部の直下とする。
- 経理財務部を改組し、経理部経理グループと財務部財務グループとする。
- 情報システムグループを情報システム部に改組し、システム企画・開発グループ、システム運用グループ、セキュリティ管理グループをそれぞれ新設する。
- 危機管理室を廃止する。
- 国際財務グループを廃止し、財務グループに統合する。

Feb

3

「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」を発表

3月17日、当期（平成20年3月期）の1株当たり配当予想について修正することを決議し、対外発表いたしました。当期の配当につきまして、業績の動向並びに財務状況および配当性向等を総合的に勘案した結果、1株当たりの期末配当額を従来予想の6円から2円増配の8円といたします。これにより中間配当とあわせた年間配当予想は14円となります。

	中間	期末	年間
前回予想（平成19年10月30日発表）	6円	6円	12円
今回修正予想	**6円**	**8円**	**14円**
（参考）前期（平成19年3月期）実績	6円	6円	12円

Mar

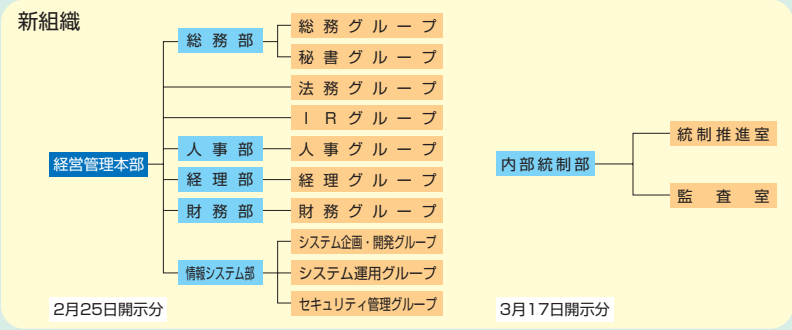
3 Mar

組織変更および人事異動を発表

3月17日、平成20年4月1日付け組織変更及び人事異動を対外発表いたしました。

＜組織変更＞

・社長直轄下に内部統制部を新設し、傘下統制推進室を新設するとともに監査室も統括する。



4月1日現在

旧　職	氏　名	現　職
取締役常務執行役員経営管理本部副本部長兼総務人事部長兼危機管理室長	松本　勝博	取締役常務執行役員経営管理本部副本部長（総務部、人事部管掌、危機管理担当）兼内部統制部長
執行役員経営管理本部経理財務部長兼国際財務グループ長	山本　　均	執行役員経営管理本部副本部長（経理部、財務部担当）
日本ザンパック㈱業務部長兼経理総務グループ長	斉藤　吉成	経営管理本部副本部長（総務部、人事部、法務グループ担当）
経営管理本部総務人事部総務グループ長	内田　浩介	経営管理本部総務部長兼秘書グループ長兼内部統制部統制推進室長
経営管理本部総務人事部人事グループ長	小川　　誠	経営管理本部人事部長
経営管理本部経理財務部経理グループ長	栗原志保見	経営管理本部経理部長
経営管理本部経理財務部財務グループ長	太田　　透	経営管理本部財務部長
経営管理本部情報システムグループ長	高津　敏朗	経営管理本部情報システム部長

3月31日、平成20年3月期　決算日

資本金の変更（平成20年3月31日現在）

資本金	101億13百万円
前回報告（平成19年9月末日）	101億11百万円（1.9百万円増加）
発行済株式総数	31,372,473株
変更理由	ストックオプションの行使

4 Apr

決算発表

4月28日、東京証券取引所に平成20年3月期決算の報告をし、対外発表いたしました。

今後の予定

6月下旬　第50回定時株主総会開催予定

会社概要

商号	株式会社JSP
所在地	本社　東京都千代田区丸の内三丁目4番2号
事業内容	発泡プラスチック、 その他合成樹脂製品の製造販売および輸出、 土木･建築工事の設計･請負および管理
設立	1962年（昭和37年）1月
資本金	101億13百万円
決算期	3月
従業員数	621名（男512名・女109名）出向者除く 連結2,140名
事業所他	6営業所、11工場、2研究所
主要関連企業	国内11社、海外22社

***** アンケートのお願い *****

株主アンケートのお声を頂戴いたしたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。なお、本アンケートを当社ディスクロージャーの充実以外の目的には利用しないことをお約束いたします。

Q1 当社株式にいつ頃投資されましたか
①1年以内　②2～3年前　③4～5年前
④5年以上前　⑤株式公開時から

Q2 当社株式に投資された理由をお聞かせください（複数回答可）
①安定性　②将来性　③経営方針
④財務内容　⑤配当金　⑥株主優待
⑦製品サービス　⑧株価　⑨証券会社の薦め
⑩その他

Q3 昨年新設の株主優待制度についてはいかがですか
①とても良い　②まあまあ良い　③普通
④あまり良くない　⑤良くない

Q4 JSPニュースについて印象をお聞かせください
①わかりやすい　②見やすい　③わかりにくい
④見にくい

Q5 興味を持たれた内容はどれでしょうか（複数回答可）
①社長メッセージ　②特集1　③特集2
④トピックス　⑤新製品紹介　⑥JSPカレンダー
⑦表紙写真について

Q6 当社のホームページをご覧になりましたか
①よく見る　②たまに見る　③ほとんど見ない
④見たことがない　⑤見る環境がない

Q7 当社株式に対する今後の方針をお聞かせください
①当面保有　②買い増し　③売却　④その他

Q8 当社に対するご意見・ご要望をお聞かせください

※同封の回答用ハガキに、上記質問へのご回答をご記入いただき、平成20年10月末日迄に最寄の郵便ポストへご投函をお願い申し上げます。

「ダイバー通りの桟橋」

～ベルギー　ブルージュ　世界遺産～

■撮影・文
清水　準一（写真家）

ブルージュはベルギーの首都ブリュッセルから鉄道でも車でも1時間強で行ける北海近くの小都市で、人口12万余りの中世そのものの佇まいを色濃く残している街です。ガイドブックなどでは街の雰囲気を「屋根のない美術館」と呼ぶほどで、旧市街・鐘楼・ベギン会修道院の3ヵ所が世界遺産に登録されています。特筆すべきお宝としてはノートルダム教会にあるミケランジェロ作の白い大理石の「聖母子像」です。

撮影したのは4月中旬でしたが、2泊3日の滞在中に晴れ間が見えたのは2回で都合5時間ほどでした。特に残念だったのは、ブルージュ到着直後すぐにブルグ広場の鐘楼に駆け付けたのですが、展望部分への366段（高さ83m）の階段を登りつめるのに、内部が狭いことなどで1時間近くかかってしまい、広場到着時には晴れていた空が曇天になってしまっていたことです。

鐘楼には4オクターブ・47個の鐘が組まれており、そのカリオンの音はヨーロッパ指折りの音色でしたが、街に響き渡る大音響に撮影終了直後は耳が遠くなったような状態でした。

水の都として知られるこの街に馴染むには運河巡りがご推奨で、水路から見る街の景観は視線の変化で一層の興を添えてくれます。ただ、観光中、水路に遊ぶ白鳥には驚きました。船長も白鳥もなかなか進路を譲らないのです。土壇場になって船と白鳥が互いに少し譲りましたが、かなりハラハラしました。

また、この街の佳さの1つにホテルがあります。ブルージュには大きなホテルは少なく、大部分は20室前後の規模で、外観は古い邸宅といった感じですが、内部は近代的に改装されています。しかし欠点はサニタリーで、欧米では一般的に風呂はシャワー程度ですから、お湯の出が悪いのは留意してください。日本からのツアー客に出会ったら、入浴は早めに済まされるべきです。他にメインストリートではレース屋さんとチョコレートの店が目立っていました。

食べ物に関してはベルギーのビールは有名ですが、ブルージュも「ストラッフェ・ヘンドリック」という地ビールがあり、なかなかのお味です。料理はフランス風味の店が多く、旧き佳きフランス料理はベルギーでないと味わえないそうです。

この旅で見た水仙が咲き乱れている林の向こうに佇むベギン修道院の白壁の宿舎は、今も忘れられない眺めです。

（上部写真）

本社・事業所一覧 Network

			☎
本　社			
	〒100-0005	東京都千代田区丸の内3-4-2（新日石ビル）	03-6212-6300
営業所			
札幌	〒060-0003	札幌市中央区北3条西1-1（サンメモリアビル）	011-231-2681
仙台	〒984-0817	仙台市若林区堰場12-5（ソレアード舟丁）	022-262-3271
名古屋	〒460-0003	名古屋市中区錦3-4-6（桜通大津第一生命ビル）	052-962-3225
大阪	〒541-0048	大阪市中央区瓦町3-1-4（トーア紡ビル）	06-6202-3775
福岡	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東1-12-17（五幸ビル）	092-411-6854
出張所			
広島	〒731-5133	広島市佐伯区旭園3-33（清水ビル）	082-943-6733
工　場			
北海道	〒067-0051	北海道江別市工栄町23-4	011-384-1621
鹿沼第一	〒322-8511	栃木県鹿沼市さつき町17	0289-76-2211
鹿沼第二	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町5	0289-76-3271
鹿沼第三	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町10-2	0289-76-5905
鹿沼第四	〒322-0026	栃木県鹿沼市茂呂字北野2626-3	0289-60-3305
鹿沼第五	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町6-1	0289-76-3211
鹿沼物流センター	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町13-1	0289-76-2121
鹿島	〒314-0103	茨城県神栖市東深芝16-3	0299-93-4111
四日市第一	〒510-0881	三重県四日市市大字六呂見653-2	059-345-1220
四日市第二	〒510-0955	三重県四日市市北小松町字扇廣1600	059-328-2563
関西	〒679-4304	兵庫県たつの市新宮町下笹515	0791-77-0213
九州	〒861-0111	熊本県鹿本郡植木町宮原553	096-274-7101
研究所			
鹿沼	〒322-0014	栃木県鹿沼市さつき町10-3	0289-76-1600
四日市	〒510-0881	三重県四日市市大字六呂見653-2	059-345-1245

JSP

発行　**株式会社 JSP**

東京都千代田区丸の内三丁目4番2号新日石ビル
IRグループ　TEL.03-6212-6306　FAX.03-6212-6302
ホームページ　http://www.co-jsp.co.jp

PRINTED WITH SOY INK

この印刷物は70%古紙再生紙と
植物性大豆インキを使用しております。